



吉田地区

設立記念号

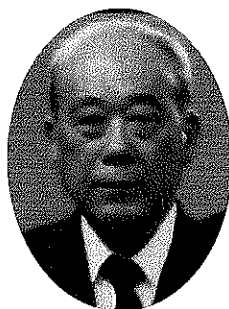
住民自治協議会だより

キャッチフレーズ：「人の和と 地域の輪もて わが吉田」

発行責任者 齊藤 忠二 編集 吉田地区住民自治協議会総務部会

住民自治協議会設立に寄せて

吉田地区住民自治協議会 会長 齊藤 忠二



現在の吉田地区は面積三・四平方キロメートル、人口一万七千人を擁する長野市の副都心として、商業地や高層ビルも次々と建ち並び住宅地として日々発展を続けております。

さて、これからの時代は、この「吉田」をどのようなまちにすれば良いのかを、行政に任せ切りにするのではなく、住民一人ひとりが英知を絞り、味のあるまちにしていくことが大切になってくるのではないのでしょうか。

今回設立された、「住民自治協議会」が正にその役割を担っている、住民による住民のため組織であります。

そのため、協議会設立に向け、幾度となく研修会等を開きつつ、住民の皆様の声をお聞きしながら検討を重ねた結果、昨年三月に準備会が設立されました。

準備会においては十一回の理事会及び委員会を開催し、「私達のまちは、私達の手で創る」の合言葉のもと、総務・福祉・安全安心・

文化・環境の五部会を設け事業を進めることなどを決定いたしました。

長野市も、市民との協働によって策定した「第四次長野市総合計画」の二年目を迎え、「善光寺平に結ばれる、人と地域がきらめくまち」ながのを基本理念に、市民に愛され誇りを持てる魅力的なまちづくりに向けて取り組みをされております。

現在の急速な社会情勢の変化に伴い、住民の皆さんの要望も多様化・複雑化しており、地域運営のあり方も難しくなっておりますが、吉田地区も重要課題を見極めつつ、輝かしい未来を見据えて重点的な施策に積極的に取り組んでまいりたいと思っております。

「何丸の俳句のまち吉田」や「大いちょうの天然記念樹のまち吉田」などを切り口に様々な活動を基に、まち全体が活力に溢れ、住民一人ひとりが「吉田のまちに住んでよかった」さらに「吉田のまちにこれからも住み続けたい」と思えることが、今後の吉田地区の発展の上でも大事であると思っております。

今後とも、吉田の住民の皆様のご指導とご協力を切にお願いし、ごあいさつとさせていただきます。

平成二〇年二月二三日に開催された住民自治協議会設立総会には、多くの住民の皆様にご出席をいただき、無事開催されましたことに、厚く御礼申し上げます。

さて、吉田地区の歴史を振り返りますと、善光寺参詣の主要道路である北国街道の北の玄関として、江戸時代には松代藩の吉田口留番所がおかれ、また、明治になりまずと北信地域の繭の集積地として経済の中心地となりました。

一方、一七六一年には、日本を代表する俳人「何丸翁」が誕生され、さらに市の天然記念樹である「大いちょう」も幾年の年輪を刻む中で、文化や伝統を育みつつ、一九二四年には吉田町として芹田など他の三村と共に長野市と合併をいたしました。



市長挨拶

長野市長 鷲澤 正一

本日は、設立準備会の齊藤会長さんをはじめ、役員の皆様のご尽力により、将来を見据えた上での組織構成や事業推進計画などを十分に検討いただき、住民の皆様のご賛同のもと吉田地区の住民自治協議会が設立の運びとなりましたことを心からお祝い申し上げます。

長野市では、市民の皆様と市役所との協働を進めるとともに、地区における課題を迅速かつ効果的に解決していくことのできる組織として、市内三〇地区を単位に住民自治協議会の設置を目指し、昨年度から区長様をはじめ各種団体の皆様、住民の皆様のご理解とご協力をいただきながら、都市内分権の推進に取り組んでいくところであります。

お陰さまで、この吉田地区での設立をもって半数の地区において住民自治協議会が設立されることになる訳で、市民の皆さんの都市内分権に対する真摯な取り組みに心から敬意を表すると共に、市としても着実な推進に全力を尽くしてまいりたいと考えております。

さて、吉田地区につきましては、JR北長野駅と長野電鉄信濃吉田駅が至近の位置にある他、公共交通の利便性にも非常に恵まれた地区であり、特に駅周辺における再開発事業は目覚しく、街の姿が日々刻々と変わっていくという、さながら長野市の副都心とイメージされるような急速な発展を遂げております。人口も大幅に増加し、今では約一万七千人が暮らす大きな地区となりましたが、新旧の住民が混在することから、安心で暮らしやすいまちづくりに向けた住民の融合がより一層必要になってきているので

はないかと思っております。

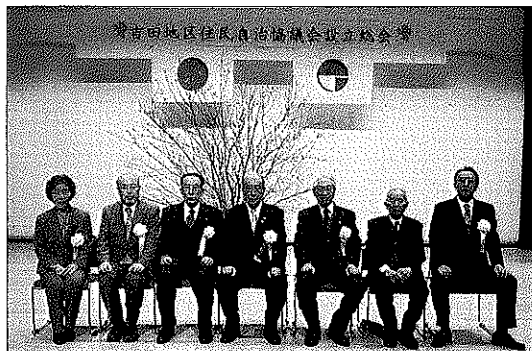
現在、長野市では個人で解決できることは個人や家庭で、個人や家庭で解決できないことは地域で、地域で解決できないことは行政で解決しようという「補完性の原理」に基づく住民と行政の適切な役割分担のもと、両者による協働のまちづくりを推進しております。

本日設立いただく、住民自治協議会は地区を代表する組織であり、計画性を持った組織であること、役割分担を明確にした組織としていただくことが重要であり、市民の皆様に住民主体のまちづくりの必要性を肌で感じていただき、地域力や自治力を高めるために、自らが率先して汗をかいていただくことが大切であると考えております。

行政として取り組むべきことについては引き続き努力してまいります。地域福祉の推進、自主防災・防犯体制の整備などは、住民自治協議会に取り組みんでいただくべき喫緊の課題ではないかと考えております。

準備会におきましては、将来を見据えた組織のあり方や部会構成、更には事業計画など多岐に亘り綿密に協議を重ねてこられたことをお聞きしておりますので、これをもとに、地域の特性を生かした吉田地区ならではのまちづくり計画の策定や地区課題の解決に向けて、より多くの住民の皆様参加を得ながら、個性ある活動をいただくようご期待申し上げます。ご挨拶いたします。

本日は、盛大な設立総会誠にありがとうございます。
(総会での挨拶)



住民自治協議会 役員名簿

会長	齊藤 忠二		
副会長	風間 政美	小淵 一彦	島田 光夫
	竹原 一夫	小林 袈裟文	
会計	西澤 鈴枝		



総務部会 委員名簿

齊藤 忠二	◎風間 政美	島田 光夫	尾町 栄市
久保田忠雄	山崎 久雄	小林 淑雄	山岸 真雄
佐々木 温	田中 守雄	竹腰 虎雄	松沢 茂
間島 軍司	小林 勇	倉澤 要	○清水 偉男
岩瀬さか江	高井 亘	横田源太郎	海野 晴子
市川 秀雄	中村 美郎		

福祉部会 委員名簿

◎小 一彦	平澤 禮子	福田八重子	山口 武久
川口 明美	田代 寿子	久保田忠雄	○竹腰 虎雄
倉澤 要	仁科 真一	森本 俊子	田口 忠徳
滝澤 信子	端山 博子	横地 陽子	和 厚子
大月 輝雄			



安全安心部会 委員名簿

○和田 久	横田 一尊	倉島 宏子	井出浦之助
丸山 正	石巻千恵美	塚田 太治	◎島田 光夫
山崎 久雄	間島 軍司	山崎 弘道	平林 一修
金井 正人	牧 昭治	宮澤 厚	近藤 広和
甘利 晴美	高山 宗重	花房 貞夫	外谷 正善

文化部会 委員名簿

◎竹原 一夫	池田 秀彦	西澤 鈴枝	和田 裕次
○竹内 幹雄	宮澤 仁一	海野 正	傳田 早苗
小林 淑雄	田中 守雄	小林 勇	田中 恭介
武田 由貴	矢島 健司	町田 静	古田 新造
高野 善憲	田村 幸藏	丸山 光政	岩崎 範
小浜 金吾			

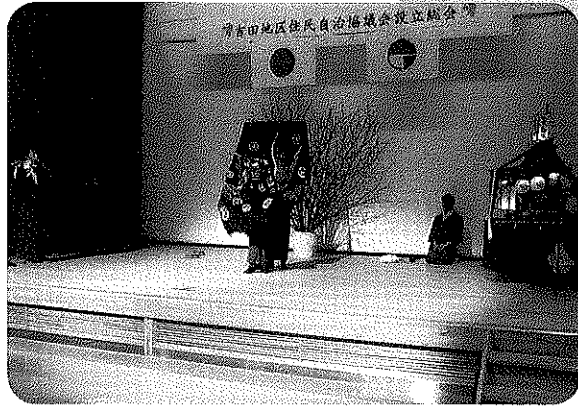


環境部会 委員名簿

◎小林袈裟文	○加藤 敦	勝田 秀夫	三澤 武美
尾町 栄市	山岸 真雄	佐々木 温	水内 和義
酒井 みき	塩入 洋子	西澤 賢	瀧本 弘子
水上 久子	内山 恵喜	中村 志郎	山口 勝己
須田 光夫	倉沢 和彦	松坂 貞重	林部 範雄
長田 郁孝	小松 一三		

設立総会

平成20年2月23日



中越区あすなろ会による獅子舞

ノルテ長野 吉田公民館 多目的ホール

にて



吉田小学校3年1組のみなさんの吉田の学習発表

午後一時三十分から桃の花
香るノルテながの多目的ホ
ールにおいて、鷺澤市長様を始
め多くの来賓をお招きし、各種
団体及び各町の住民二百余名
の皆様によって盛大に開催さ
れました。市長様のお祝いのこ
とばを戴き議事については、全
会一致で承認され終了しました。



設立総会風景

本年二月二十三日の良き日
に、住民自治協議会設立総会前
に協議会の拠点となる事務所
の開所式を行いました。市長
様を始め来賓の皆様方により
除幕式を挙行し、狭い事務所
ですが役員及び五部会の机を
一巡しました。住民の皆様
のお出掛けをお待ちしています。



瀬川バレエアカデミーのみなさんによる何丸おどり

総会終了後アトラクションと
して、中越区のアすなろ会によ
る「祝う獅子舞」、吉田小学校
の児童による合唱及び三年一組
の学習発表、続いて瀬川バレエ
アカデミーの皆さんから「俳句
のまち吉田」に関連する何丸踊
りが披露され、場内を魅了させ
て戴きました。ありがとうございます。



吉田小学校合唱団のみなさん

設立総会に参加 された方の声

吉田田町 岩下秀雄さん
進んで参加し、みんなで協力し
てやるう「自分たちの町のことは
自分たちの手で」

北本町 原 圭三さん
総会の内容については、わかり
やすかったが、市長の退場が早く
て残念でした。

横町 丸山照夫さん
協議会設立おめでとうございま
す。吉田町の為に御尽力をお願い
致します。

太田 大塚幸一さん
今後、住民に理解される協議会
活動が必要であります。

商工振興会 塚村喜也さん
三年一組の児童は、地域のことを
よく勉強したことがわかりました。

編集後記

今年の冬は、毎日のように
雪と寒さに見舞われた冬でし
た。本年二月二十三日に開催
されました、吉田地区住民自
治協議会設立総会の「設立記
念号」をお届けします。今後
住民の皆様方に、協議会の活
動についてお知らせしていま
います。

今回の編集は誠に不慣れで
ございますが、各方面のご協
力により無事発行することが
できました。今後ともよろし
くお願いします。

(編集委員一同)